

11/18(土) 日

午前9時30分～
登米総合体育館「とよま蔵ジウム」

■ ステージ発表

- ▶ 食育・子育て・環境・防災関係の実践発表 (9:40～10:20)
- ▶ 元気がでる講演会 (10:30～12:10)
講師：志村尚一さん
歌と踊り：劇団「ぜんとようようくらぶ」
『一人一人のキラめきから元気あふれる“健康登米市”』

■ 展示・体験の部

【食育】

- ▶ 体験コーナー (12:00～13:00)
○はっかつみチャレンジ○おにぎりニギニギ
- ▶ 試食コーナー (12:10～13:10)
○ニラはっつ、栄養満点おにぎり
- ▶ 地域食材の紹介・販売コーナー (10:00～15:00)
- ▶ 展示コーナー (10:00～15:00)

【健康】

- ▶ いきいき体操 (13:10～13:50)
- ▶ 「やる気、元気、いきいき登米事業」の紹介、国保連合会コーナー、歯科関係、健康パネル展コーナー、検診団体展示コーナー、がん予防展示コーナー、とよま健康コーナー (10:00～15:00)

【福祉】

- ▶ 日赤・民生委員コーナー、福祉コーナー、地域福祉活動紹介コーナー、福祉作業所コーナー、小規模作業所コーナー (10:00～15:00)

【介護】

- ▶ 介護コーナー (10:00～15:00)

【市民】

- ▶ 人権擁護・更生保護・保護司会コーナー、防犯・交通安全コーナー (10:00～15:00)

【環境】

- ▶ 公衛連コーナー、ハイブリット車コーナー、地球温暖化対策コーナー、環境(ごみ分別促進・資源化)コーナー (10:00～15:00)、廃食油回収 (10:00～14:00)

■ 交流・体験の部

- ▶ みやぎ福祉機器体験フェア、親子あそびの広場、救急救命コーナー、衝撃体験車、抽選会 (10:00～15:00)

■ 献血事業

- ▶ 献血 (受付14:00～)

【問い合わせ】 市民生活部健康推進課
☎0220 (58) 2116

第1回

市民活き生き健康フェスティバル

健全な食生活は豊かな人間性を育てる

いのちを育む「食とこころ」



体験乗車した市民を乗せて出発するBDF市民バス (10/2・市役所迫庁舎前)

■ Interview ■



主婦
星 久美子さん (南方町・吾下)
今まで廃食油は、固形剤などで固めて燃やせるごみに出していました。各家庭に回収用の専用ポットを準備してもらおうと便利ですし、各行政区の集会所などで回収できれば、持ち込むのが簡単になり、回収量も増えると思います。



はんとく苑利用者
菅原 重夫さん (東和町・米川第6区)
BDFの製造作業は疲れませんが、まだ慣れていないので毎日が大変です。今は造ることに魅力を感じています。これからもっと回収される廃食油が増え、わたしたちが造ったBDFで市内を走るバスや車が増えたらうれしいです。



登米市公衆衛生組合連合会会長
姥名 茂喜さん (南方町・大門)
社会が発展していくにつれて、環境問題が大変重要になります。BDF推進事業は、組合と行政の考え方が一致して共にスタートしました。この取り組みで、環境問題が少しでも改善され、いつまでも自然豊かな登米市であってほしいです。

BDFを使用した市民バス
出発式が10月2日、市役所迫庁舎前で行われ、市民や関係者、職員ら約200人が参加しました。
布施市長は「この事業は市民皆さんの協力をいただきながら進めています。市にとって大きな成果になることを期待したい」とあいさつ。関係者によるテープカットのセレモニーが行われました。
その後、市民バスは体験乗車の市民を乗せて市役所前を出発。会場に詰め掛けた人たちから、大きな歓声と拍手が

BDF使用の市民バスが運行開始 市民皆さんの協力で新たな資源を

沸き起こりました。
この日からBDFを使用した市民バスの運行がスタートしました。
主役は市民皆さんです
官民一体となって取り組みをスタートさせたBDF推進事業。この事業により、地球温暖化対策や市内の環境保全、市民との協働など、さまざまな効果をもたらすことに大きな期待が込められています。
この事業の主役は市民皆さん一人一人です。
これまで、各家庭で捨てら



BDF市民バス出発式での関係者によるテープカット

【BDFに関する問い合わせ】
市民生活部環境課
☎0220 (58) 5553